

# 「いわて三陸 復興のかけ橋」推進事業の概要（案）

## 現 状 と 課 題

- ・首都圏では震災が風化しつつある（西日本ではなお顕著）。
- ・企業には支援の意思があるが、被災地ニーズが見えない。宮城に比べ拠点も少なく不利。
- ・支援に対する被災地への寄与や評価（感謝）が見えない。
- ・大規模・広域的な支援に対する受け皿とコーディネート機能が必要（県としての信頼性）。
- ・ボランティアの減少やNPOの撤退等、継続的な復興支援への対策急務。
- ・震災復興の記録や活動実績等に関わる情報の散逸。



## 事業の目的

- ・情報共有によるマッチングの促進、つながりの構築、活動の支援
  - ・情報発信による風化の防止、新たな支援の呼び込み
  - ・情報の記録、蓄積によるアーカイブ素材の収集
  - ・支援団体、産業界、大学、行政等の連携体制の構築、関係機関のコーディネートによる効果的な復興推進体制の構築
- ⇒復興の加速化

## 事業概要

復興支援ポータルサイトを活用した復興の加速化に向けた事業を展開

- ①地元ニーズ・支援提案の情報共有とマッチングの促進
- ②復興の進み具合に係る情報収集と情報発信
- ③連携体制の構築、団体間のコーディネート

## 市町村との連携・市町村からの情報発信

### ★市町村等との連携

市町村等と連携することにより、県内の情報を集約・網羅。

### ★「市町村ごと」のページ

市町村ごとに情報を整理。各市町村内の動きが一目で分かる。

### ★市町村からの情報発信も支援

市町村が自由に情報発信できる。  
例）フォーラム等行事の案内  
支援への感謝  
ニーズの発信

## 拡充するポータルサイトの概要

開かれた復興

連携推進

情報発信

記録保存

いわて三陸 復興のかけ橋ポータルサイト(名称継続予定)

目的:多様な主体の動きを県民運動化するとともに、活動を記録し震災の風化防止を図り、復興の動きを加速化

特徴:県、いわて未来づくり機構、NPOなど多様な主体のプラットフォーム

内容(案):

- ①ニーズ情報:一元化 拡充
- ②シーズ情報:一元化、一覧化 拡充
- ③マッチング実績一覧:これまでの成果を一覧化 新規
- ④補助金・助成金一覧:復興関連の補助金等を一覧化 集約
- ⑤復興の進み具合: 新規 リンク  
復興の状況の可視化、活動実績や進行プロジェクト総覧、支援への感謝記事等
- ⑥団体の活動状況:地域ネットワークや活動団体一覧 新規 リンク
- ⑦各市町村の情報:市町村発情報、復興状況、活動実績など 新規



運営 県:復興局、政策地域部(いわて未来づくり機構)

多様な機関・主体と連携

国

市町村

大学

企業

団体

NPO

個人

## 推進体制のイメージ

本部・事務局(未来づくり機構)

※25年度当初予算要求中

拠点:県庁政策推進室

体制:職員、運営員

- 活動:
- ①事業全体の管理
  - ②マッチング支援
  - ③情報整理、サイト管理
  - ④関係機関との連絡調整

現地サテライト(久慈、宮古、釜石、大船渡)

拠点:委託事業者事業所

体制:現地要員を配置

- 活動:
- ①マッチング活動
  - ②情報収集、記事作成
  - ③関係機関との連携

連携

各市町村

久慈サテライト

宮古サテライト

釜石サテライト

大船渡サテライト

連携

助けあいジャパン

いわて連携復興センター

いわて復興応援隊

協力

日本経済団体連合会

日本フィランソपी協会